



善正寺だより

〒512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎059-331-1670
fax:059-332-0733

掲示板法話

同一に念仏すれば 別の道なし 四海のうち 皆兄弟なり

(曇鸞大師・往生論註)



今年もまもなく折り返し点、月日の経つのが早いですね。

近年は気象変動著しくて、昔のような四季の変化を体感することが少ないのですが、皆さん先行きを案ずる話の間かれます。断捨離(身の回りの衣服等の処分)とか、お墓の事、お仏壇の事など、一人暮らしの方々の相談などもたらされます。

その場合、宗教、宗派の違いなどがネック(障害)となって後始末が進められないなどの悩み事をよく聞きます。そんな時、親鸞聖人が特に傾倒された七高僧の一人である曇鸞大師の言葉「同一に念仏すれば、別の道なし」「四海の内、皆兄弟なり」が解決の背中を押してくれるように思われます。

親鸞聖人の御和讃(高僧和讃)には、「安楽仏国にいたるには
無上宝珠の名号と
真実信心ひとつにて
無別道故とときたまふ」とあります。

意識すれば、「お浄土に生まれるためには、無上の宝珠である名号(お念仏)

と、真実信心とだけがあればよいのであり、それ以外の(別の)道(方法)はない、と(曇鸞さまは)お説きになった」と言われます。

濁った水の中に、水晶の玉を入れると、水も清らな美しい水に替えられていく。それと同じように、どんなに境遇や考え方が違っても、「仏心とは、大慈悲の心であり、無縁のものでも大慈悲心で救う」と観無量寿経にあり、「仏から逃げていくものを追いかけて救う」のが「阿弥陀如来の摂取して捨てず」の心だと、親鸞さまは感動されました。

最近、親子とか、夫婦、孫と祖父母という家族の間でも殺人事件が起こり、悲しくなります。そんな五濁惡世の濁りの中にある我々こそ、お念仏の心を頂いて、「四海の内、皆兄弟」と心の門を広く開き、柔らかな心に育てられる道を歩みたいものです。



☆行事ご案内☆

◇7月の門信徒会例会 7月20日(日)午前8時半

※本年度善正寺門信徒会費を7月末から8月に
掛け、行事、世話方、住職が巡回。ご協力よろしく!

◇盂蘭盆会法要 8月15日(金)午前8時半

納骨堂ご利用の方や地元門信徒の方お参り下さい



◇秋季永代経 9月20(土)・21(日)午後1時半

講師:木膏(きうり) 慈教先生(長野) 初めのご出講!

お経開きは20日(土)午前10時半(招待者)

◇一縁会テレホン法話 TEL059-354-1454で3分法話

5時の鐘撞き年中無休、誰でもOK、ガム、チョコ、飴進呈

善正寺ホームページ 各QRコードで過去の寺報閲覧可

毎日更新ブログ住職と坊守のつれづれ日記大好評!

一日平均100訪問17年で47万5千訪問お悩み相談可

新納骨堂後継者の無い方墓でお困りの方相談を個別納骨

法事場所お困りの方、本堂使用可、日程ご相談下さい

新共同墓境内地に記名プレート付共同墓納骨、自由参拝



善正寺
ホームページ



住職と坊守の
つれづれ日記

※スマホカメラで上記QRコードを読み取り「住職と坊守のつれづれ日記」を訪問して下さい。お寺の日常生活が丸分かり! 16年間毎日更新しています。また3年間毎月継続中の「善正寺だより」もご覧頂けます。

☆写真アラカルト☆



坊守スケッチ

死は前より来たらう、後ろに迫れり

毎朝垂坂山で元氣でお会いしていた散歩仲間が、最近姿を見かけません。知人に聞くと、医者へ行く途中転んで救急車で運ばれたとか。大事に至りませんが、それ以降外出を控えているそうです。80歳を契機に運転免許証を返上してから、気持ちまで落ち込んだそうです。人生百年時代になって、自分はまだ20年残っていると単純に考えるのは浅はかなことです。誰しもある日突然「まさかの出来事」が襲ってきます。

鎌倉時代の吉田兼好が『徒然草』で「死は前より来たらう。かねて後ろに迫れり」と記しています。人間は必ず死に、やがていつかは自分にも訪れる日が来ます。それが分かっているにも拘わらず、中々それを受け入れようとはしません。それが「いつ」のように「やってくるかは分からぬまま、明日も同じように日が昇り、何ともなく日が過ぎていくと信じて生きています。しかし兼好は「死は前方から姿を見せて近づいてくるのではない。むしろ背後にいて、そつと確実に近づいている」と明言します。

明るい未来が待っていると信じて生きているのは若くて元氣な時だけ。高

親思ふ心に
勝る親心
今日のおとずれ
何と聞くらむ
吉田兼好

齡者になると、今まで出来ていたことが一つずつできなくなり、予期せぬ現実を突き付けられます。親しかった友人とも疎遠になり、晩年身近な家族とも別れて住み、孤独感が一層募ります。残された時間を一人寂しく過ごすのは、あまりにも空しくありませんか？

いのちは儚く永遠ではありません。明日もありと思わせる心が、今日の輝きを失わせます。死を遠ざけるのではなく、死の存在を背中に感じながら、今日一日を丁寧に生きたいものです。身近な人の死に出会う事は、私に『いのちの尊さ』を教えて下さる貴重な「縁」です。

お悔み申し上げます

★稲垣新吉様(88)5月31日小杉一

カンバ有難う

澤田美智江様、T.T様、T.S様、I.S様
他、お志に感謝します。

初参式の赤ちゃん・子供を募集

来年4月18日土1時「初参式」の赤ちゃん、子供を大募集三全仏婦主催、千円、



下写真は文化会館に展示された若坊守の入選作品、中2孫は老坊守の背丈を越しました。

若坊守のコトコト日記No.126

先々月号で長女の登校班について触れました。六月に入り、四人の新生も随分小学校に慣れたようです。

一人の新生一年生の子が行き渋りをしていたが、母親が学校まで付き添い、何とか登校しています。毎朝の事で母親は大変ですが、「いつになったら他の子と同じように行ってくれるのかしら」と苛立っているかもしれません。

でも必ず一人で行ける日が来るので、氣長に待つてあげて欲しいと思います。ある日の夕方、五時の鐘突きの時、境内から「こんにちは」と太い声が聞こえました。見ればこの四月に中学生になったY君でした。彼は私の書道教室の元教え子で、大きな背丈が更に大きくなっていました。丁度通りかかったという彼と鐘突きをし、得意の水泳を

優しくて素直な性格は変わらず、成長著しいY君の活躍を嬉しく思いました。子供が子供でいる時間は想像以上に短く、一緒に過ごせる時間を大切に、日々過ごしていきたいですね。



俳壇 & 柳壇

母の日や後姿の割烹着 釋妙水

何万のみどりの里や無人駅 釋妙水

踏ん張るや筋肉踊る夏土俵 釋妙水

黒猫の金色目玉若葉光 釋樂邦

会心の出来映えぶるぶる枇杷ゼリー 釋樂邦

夏木立狐と烏のバトルかな 釋樂邦

日向ぼこき友の手紙読み返す 釋住安

うどの芽を摘みて天ぶら蕎麦にのせ 釋住安

石榴落ちルビー飛び散る土手の上 釋住安

かき氷食べた昭和の赤き舌 釋妙梅

天道虫肩に来るまで這わせる児 釋妙梅

パタパタと扇ぎ一氣に入る蚊帳 釋妙鈴

五月田の古里あとに大谷廟 釋妙鈴

春風や清めし庭に一葉かな 釋妙鈴

彩色残す千年仏や薄暮光 釋秀龍

球春や足取り軽やかに送球 釋秀龍

夏来るコロツケの具のゆで卵 釋秀龍

廃線路の置石に鳴くすずめの子 釋清風

白鷺の城下水辺や七変化 釋清風

万緑や空気いっぱい欲しいまま 釋清風

短夜や寝覚めはかなき夢を見る 釋清風

何処よりも亡夫居そうな飲屋街 釋清風

亡母の名で呼び止められた故郷の駅 (い藤をか志)

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」379号をお届けします。◇今年も、猛暑の長い夏が近づいて来る。現代文明がもたらす地球温暖化の影響、柔軟な智慧でしのぎつつお付き合いする外なからう？◇真偽とりまぜた情報SNSで拡散、詐欺被害も多発。文明の利器を凶器にさせる教育、仏教精神が待望される。合掌。

最近話題沸騰中の米の価格高騰問題。まさか令和の米騒動が起きるとは予想もしていませんでした。でも備蓄米を安価で大量に放出することができて落ち着きを取り戻し安堵しました。近年は米離れと言われ、パン食や麺類の人が増えていますが、米不足だと聞くと、却ってご飯を食べたくなるのが人情です。私が米不足の情報を知ったのが昨年の8月下旬、それから10か月後にこんな騒動になるとは予想もできませんでした。今回は若い実行力のある大臣の迅速な対応で、解決の糸口が見つかりました。農水省の職員の方多もご尽力されたことでしょう。人間、^口ヤル気になつて真剣に取り組めば、解決の糸口は見つかるものです。今回の騒動で日本にはこんなに沢山の備蓄米があることを初めて知りました。このまま放置すれば家畜の餌になることも驚きでした。米農家さんのご苦勞を思えば、安価な米がいいとは決して思いませんが、消費者が安心して買える価格になる努力を続けて欲しいと思います。一方、関心感漂うお寺の世界にも、こうした思い切った改革や柔軟な対応ができる若い力と行動力が欲しいなあと思いました。何もしないことが伝統を守ることではありません。伝統に安住せず皆様のご意見を反映できるお寺になりたいと思います。より一層のご協力をお願い申し上げます。

合掌

令和七年七月

善正寺坊守 拝